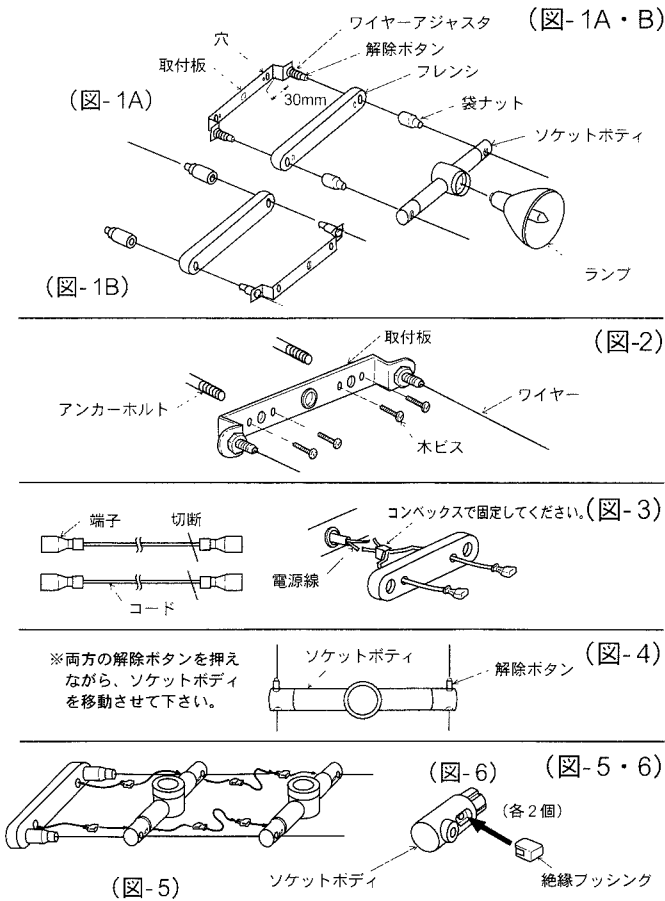


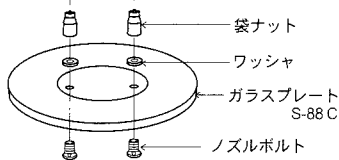
◆各部の名称

この図は一部省略削除した共通部品図です

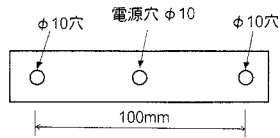


●オプション取付図

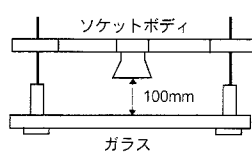
●ガラスプレートの場合



◆取付寸法



◆最短取付寸法



◆適合ランプ (球別)

品番	ランプ (別売)
EP-9101B・S	φ50 省電力ダイクロハロゲン球 50W型40W×1 E-11
	ハロゲン形クリプトン球 75W・90W×1 E-11

- ⚠ 適合ランプ以外のランプは、絶対に使用しないでください。火災・器具故障の原因となります。
- ⚠ ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

◆取付方法

※安全確保の為、電源(ブレーカ又は壁スイッチ)を切ってください。

⚠ 感電の原因となります。

- 1) フレンジ2組を用いてワイヤーを水平に張る場合
  1. ワイヤーを取付板のワイヤーアジャスタの中に差し込んでください。  
※ワイヤー先端は取付板の穴から30mm以上出しておいてください。
  2. ワイヤーにフレンジ、袋ナットを通してください。
  3. ワイヤーにソケットボディを通してください。(図-1A)  
※コードの送り容量は6Aまでです。使用灯数にご注意ください。  
※ワイヤーアジャスタの解除ボタンを押しながらワイヤーを入れてください。(図-4)
  4. ソケットボディが全て通し終わりましたら、逆方向に袋ナット、フレンジ、取付板という順番で通してください。(図-1B)
  5. 片方の取付板を壁及び天井面に固定してください。(図-2)  
(木ビス4本又はアンカーボルト2ヶ所)
  6. もう一方の取付板を先程の取付板と平行に壁及び天井面に固定してください。
- ⚠ 取付けが不十分ですと、落下の原因となります。
  7. ワイヤーを引張り、張れましたら別売のコードを用いて片方の端子を切断してください。
  8. フレンジの穴にコード(2本)を通して、電源線と結線してください。(図-3)
- ⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災の原因となります。
  9. フレンジを袋ナットで取付板に固定してください。
  10. ソケットボディをお好みの位置に設定してください。(図-4)
  11. ソケットボディの位置設定が終わりましたら、コードを長さ調整後、端子をそれぞれのソケットボディに接続してください。
  12. 最終ソケットボディの端子露出部は絶縁ブッシングで固定してください。(図-5・6)

2) ペンダント形式で使用される場合

1. 器具重量に耐える様、天井の取付部の強度を確保してください。
- ⚠ 取付部の強度が不十分な場合は、器具落下の原因となります。

⚠ 取付けに不備がありますと、落下の原因となります。

3. セードに付属するワイヤーを袋ナット、ソケットボディ、袋ナット、フレンジの順に通してください。  
※ペンダントの場合は、ワイヤーアジャスタの解除ボタンが送り電源の方に向いている様に通してください。(図-4)
4. ワイヤーを取付板のワイヤーアジャスタ及び解除ボタンに通し、高さ調整してください。  
注) ワイヤーは、傾き調整の為、解除ボタンから30mm以上出しておいてください。(図-1・7)
5. 1) 8以下の要領で取付けてください。

3) ランプをセットしてください。

⚠ ガラス管を強く握ったり、ひねったりしますと、破損・怪我の原因となります。ていねいに扱ってください。

⚠ 点灯中や、消灯直後にランプを素手でさわりますと、やけどの原因となります。消灯後20分後にしてください。

※コードがたるむ場合は、コードに同梱のコードクリップでワイヤーとコードを縛ってください。

オプション

● ワイヤー2本にかかる重量はトータル8kg以下にしてください。

	長さ	型番
ワイヤー (各1本)	20m	K-445S
コード (各2本)	2m	K-441SA
	10m	K-442SA

■清掃方法について

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シナーやベンジンなど揮発性のものまたは酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

● 電気工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄営業所へお問合せください。